

令和6年度那珂川町総合教育会議 議事録

那珂川町長 福島泰夫は、令和6年12月19日午後3時30分、那珂川町役場において令和6年度那珂川町総合教育会議を招集した。

出席者 (構成員)	町長 福島 泰夫 教育長 吉成 伸也 教育委員 佐藤 寿 渡邊 芳枝 青木 崇 木村 輝昭
欠席者(構成員)	なし
構成員以外の 出席者(事務局)	学校教育課長 加藤 啓子
	生涯学習課長 星 学
	生涯学習課課長補佐 川上 浩
	学校教育課長補佐 橋本 秀一
	学校教育課学校管理係長 五月女 倫子
傍聴人	2名
協議事項	(1) 少子化への対応について
	(2) 教育施設の再整備計画について
会議の内容	
1 開会	開会宣告 学校教育課長 (午後3時30分開会)
2 あいさつ	
町長	<p>皆さん、こんにちは。令和6年度那珂川町総合教育会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>教育委員の皆様には、本町の教育はもちろん、町政全般にわたりまして、日頃よりご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。</p> <p>町では、令和3年度から令和7年度の5年間を計画期間とする「第2次那珂川町総合振興計画 後期基本計画」に基づき、各種施策を展開しており、現在は、令和8年度からの「第3次那珂川町総合振興計画」に向けて、庁内で調整を図っています。</p> <p>町としては、将来を担う子供たちにより良い教育環境を提供することはもちろんのこと、子供たちを育てる保護者の方を支援し、那珂川町に住んで良かったと思ってもらえる、まちづくりを進めていきます。</p> <p>学校教育や生涯学習に関することはもちろんのこと、様々な面で委員</p>

	<p>の皆様には、お世話になると思いますが、今後ともご理解とご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>本日開催いたします総合教育会議は、毎年、教育委員の皆様と共に様々な教育施策に関し、自由に意見を交換させていただく貴重な場であります。</p> <p>本日は、「少子化への対応について」及び「教育施設の再整備計画について」の2つの議題をご提案させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">きたん</p> <p>本年も委員の皆様の忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。</p>
3 協議事項	(進行：町長)
町 長	<p>それでは、私が進行を務めさせていただきますが、まず初めに、議題1の少子化への対応については、個人の秘密保持のため非公開とさせていただきます。どうでしょうか？</p>
教育委員	(異議なし)
町 長	<p>それでは、議題1の少子化への対応については、非公開とさせていただきます。</p>
傍聴人	(退出)
町 長	<p>それでは議題1、少子化への対応について学校教育課の説明をお願いします。</p>
学校教育課 課長補佐	<p>議題設定の理由について説明します。</p> <p>少子高齢化は、重要な課題との観点から様々な施策を展開している。教育委員会としても特色ある学校づくりとして、コミュニティスクールを通じた開かれた学校教育や、英語教育など教育行政を通じた少子化対策を実施しているが、想定を上回る速度で加速している。</p> <p>資料1は出生数についての資料だが、毎年50人から60人台を推移していたものが、令和4年度は40人台、昨年の令和5年度は、30人台を割り込むなど、深刻な状況である。</p> <p>今後の出生数にもよるが、馬頭小学校区の出生数が昨年度と同程度となると、馬頭小学校においても令和14年度以降、複式学級の学年が出</p>

	<p>てくる可能性がある。</p> <p>次に資料2ですが、年度別の各中学校の生徒数の見込みの表である。</p> <p>生徒数の推移は、町全体としては減少傾向にあるが、学校によって全く異なり、馬頭中学校では大幅な減少傾向となるのに対し、小川中学校ではわずかに増加傾向である。</p> <p>最後に資料3ですが、令和5年度における両中学校の各部活動の全部員数と、新人戦を組む1，2年生の部員数を記載した表である。</p> <p>生徒数の減少から、これまでも部活動の数を減らしてきたが、3年生が引退し、1，2年生のみの秋のチーム体制となると、チームの人数を満たせない部活動が出てきている現状であることから、野球部とサッカー一部では昨年度から、合同部活動を行い、大会に出場している。</p> <p>こうした状況を踏まえ、学校施設をどのようにしていったら良いか、協議の視点などを考慮し、教育委員の皆様には検討いただきたい。</p>
町長	<p>それでは皆さんから、意見を頂きたいと思うが、協議の視点にもある「少子化に伴う学校教育の現状と課題について」どのように捉えているか。</p> <p>〇〇委員さん、どのようにお考えですか？</p>
委員	<p>現状、町内を見ても子供たちが少ないのがわかる状態にあると思っていて、増やさなければならないというのはわかってはいるが、増やすために何をしたら良いのかまだわからない。しかし、資料2で小川中が増えているので、その理由があるとしたら何か対策に活用できるのではないかな。</p>
町長	<p>〇〇委員から意見があった、小川中が馬頭中に比べて若干増えている理由について、どのように捉えているか事務局で考えはあるか。</p>
学校教育課 課長補佐	<p>統計などを取ったわけではないのでわからないが、合併をして同じ町内という意識も強くなり、馬頭の東部地区の方が山あいに住むよりは、小川地区に新たに家を建てて出てくるという考えの人もあるのではないかなと思う。</p>
町長	<p>私も旧馬頭地区で考えると、中山間地域の若い人たちが町うちに家を建てるといった形があり、その中で小川地区に行く人もあるのかなとは思</p>

	う。
町 長	〇〇委員は、何か意見はありますか？
委 員	<p>町の活性化という点では、お店の数も要因があるような気がする。馬頭地区は、小川地区に比べて大きなお店が少ないと思う。また、お店への立ち寄りやすさなども関係していると思う。</p> <p>あと気になったのが、出生数が20人くらい急激に減っているの、町として何か要因があったのかなと思う。働き口が少なくなったなど、そういったことは関係があると思うので、その辺を課題として原因を突き止めていかないと、馬頭地区の少子化対応は難しいのではないかなと思う。</p>
町 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>〇〇委員さんの意見について、事務局での意見はあるか。</p>
学校教育課 課長補佐	少子化については、当町だけの問題ではないので、個人的にはコロナの影響は大きいと思う。コロナにより接触を避けることで、婚姻数も減っていると思う。そうすると当然出生数にも影響してくると思う。
町 長	<p>私も同じように考える。子供の数が減っているのは、コロナによる婚姻数の減少が相当影響していると思う。コロナ前は、毎年、職員の結婚式など呼ばれた。ここに来て、職員でも結婚するなどの話も出ているので、コロナが明けたから、この先明るい兆しが見えるかなと思っている。</p> <p>〇〇委員は、どうですか？</p>
委 員	なかなか少子化問題への対応は、町では限界があると思う。国がいろいろやらないと人口が増えるのは難しいと思う。那珂川町も、今後、もしかしたら出生数が改善するかもしれないが、長い目で見ると減っていくと思うので、減っていった後に、学校施設をどうしていくのかを考える必要があると思う。学校を1校にまとめることも考えていかないといけないと思うが、そうするとスクールバスで通学する遠方の子の通学時間なども課題になると思う。
町 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の〇〇委員の意見に対して、事務局の意見は？</p>

<p>学校教育課 課長補佐</p>	<p>出生数を見ると、学校をまとめるという段階にきていると感じている。学校をまとめるとなった場合、距離的な問題でスクールバスの時間など問題があると思うが、そういったものは、検討委員会などを立ち上げ、その中で今後の方針も含めて、様々なことを検討していく必要があると思う。</p>
<p>町 長</p>	<p>はい。ありがとうございます。 〇〇委員さん、この件に限らず何かご意見を頂ければ。</p>
<p>委 員</p>	<p>私見になってしまうが、学校関係の仕事に携わり地元の小規模学校から勤務をスタートした。その頃は小規模と言っても1学年当たり20人弱くらいはいて、地域の皆さんの協力のもと、地域の学校という環境でやっていたのが良いなと思っている。小規模学校は、大きな学校よりは子供たちと触れ合うことができることから、そうした環境で育った子供たちが、地域に協力できる大人になってもらえたらというイメージでいた。</p> <p>しかし資料を見ると、5、6年後になると思うが、小学校から中学校までクラス替えもなく、9年間一緒に過ごさなければならない状況が考えられる。そうした場合、率直なところ自分の経験からいうとあまり良くないと感じている。果たして9年間過ごした後に社会に出ていったとき、グローバルで多様化を求められる時代の中、那珂川町の子供たちがうまくやっていけるか自信がなくなってしまうのではないかと思う。</p> <p>近隣自治体で、統合により大規模校となったところでは、子供たちのエネルギーを感じる。学力にしても体力にしてもそうだが、「学び合い」、「競い合い」、「励まし合い」など、そういったものが必要なのだと感じた。</p>
<p>町 長</p>	<p>はい。ありがとうございます。 〇〇委員さんからは、ご自分の経験から小規模校や大規模校の良い面や悪い面、また、学校の適正配置に関するところまでの意見をいただいたが、事務局の意見はどうか？</p>
<p>教育長</p>	<p>今、〇〇委員から中学校の問題として、クラス替えをしないまま9年間を過ごす可能性があるという話がありましたが、そういった可能性が</p>

	<p>高くなっていると感じている。心配なのは、音楽や美術、技術家庭などを専門教科の教員に担当してもらい環境が整えられなくなり、そういったことが少子化の影響による、中学校の大きな課題になっている。</p> <p>教育振興基本計画も町の振興計画と併せて、令和7年度までの計画なので、来年度には新しい振興計画の策定に入らなければならない。その計画の中で、学校の適正配置をどのように盛り込んでいくかと言う事が、今、事務局の大きな課題であるので、ぜひご意見を頂きたい。</p>
町 長	<p>ただ今、〇〇委員や教育長から少子化に対する意見で、専門教科担任の配置や、クラス替えができないなどの問題を指摘いただいたが、どんな方向に行くべきか意見があればお願いします。</p> <p>〇〇委員、どうですか？</p>
委 員	<p>〇〇委員から、クラス替えができなくなる話があったが、子供たちは競うことが少なくなっていて、ちょっと打たれ弱いところがあると感じているので、せめてクラス替えができるような方向にもって行ってもらえればと思う。</p>
町 長	<p>〇〇委員はどうですか？</p>
委 員	<p>私の意見は、〇〇委員の意見とはちょっと違う。うちの中学生の子供は1クラスだが、高校で多人数のところは馴染めないかと思ったら、意外と馴染んでいる。自分たちが考えているよりも子供たちは、先んじていて、少人数でも多人数でも、さほど変わらない気がする。お互いに話すよりも、ネットで話す機会が多いので、どうしても少人数になる。それが大規模校に行っても、グループ自体は少人数になるので、心配はないかと思う。</p> <p>意外と心配なのは、競うというよりも競ったことが無い子どもたちが集まっているので、お互い、なあなあな関係になっている感じはする。</p> <p>高校をみてもリーダー格になっている子供がいない。自分たちの時代は、同級生が何百人といて各クラスにリーダーがいたが、今はリーダーが居ないし、居てもまとめきれていない。</p> <p>那珂川町だけで考えると少人数は心配だなというのは確かにあるが、それほど心配はない気はする。町の方向性はそんなに間違っていない気</p>

	<p>がする。</p> <p>かえって自分が思うには、今の子供たちは環境的に裕福だと感じる。それが子供たちはわかっていないのがちょっと残念な感じである。</p>
町 長	<p>〇〇委員はどうですか？</p>
委 員	<p>1クラスだと、クラスの中で浮いてしまった場合、そのまま学年が上がっていくとなると心配な面はある。また、少人数のクラスでいじめになった時なども心配である。</p>
町 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>子供たちはそれなりに少人数でも順応するけど、クラス替えもできない、適正な教員の配置ができないなど、今度は町の方の問題になってくると思うが、〇〇委員、その点はどうでしょうか？</p>
委 員	<p>やっぱり子供たちの教育の柱となるのは学校教育であり、教員の適正配置に準ずるというところは、避けて通れないことだと思う。そうなってくるとシナリオが必要で、昨年の文部科学省の調査で、統廃合で一番大切なことは保護者や地域住民の合意形成であるとの結果から、第1は子供たちになるが、保護者や地域住民など地域コミュニティに向けた調整が非常に大事になってくると感じる。</p>
町 長	<p>かつて学校の統廃合の時もあったが、地域住民の理解を得ることの方が非常に大変である。</p>
町 長	<p>いろいろと少子化や学校の適正配置についてご意見をいただいたが、教育長から意見はどうでしょう。</p>
教育長	<p>本当にこの問題については、真剣に考えていかなければならないと改めて感じている。今後、今日の意見を参考にさせていただきながら、早急に対応していきたいと思う。</p>
町 長	<p>以上で議題1「少子化への対応について」を終了する。</p> <p>次の議題に入る前に、非公開を解除します。</p>
町 長	<p>再開いたします。</p> <p>続いて議案2「教育施設の再整備計画について」生涯学習課の説明を願う。</p>
生涯学習課長	<p>町村合併20周年を控え、旧町時代に建てられた教育施設の老朽化が</p>

	<p>問題となっている。学校施設は計画的に改修工事を実施し長寿命化を図ってきたが、図書館や体育館などの社会教育や社会体育の施設は、改修工事等を行っていないため、再整備の時期にきている。</p> <p>第3次那珂川町総合振興計画の策定にあたり、町当局と連携を図りながら、生涯学習施設の整理統合を検討している。施設全体の長寿命化、再整備計画の基本構想の基礎資料とするため、議題を設定した。</p> <p>公民館は小川公民館1館で、建築から48年が経過しており、大規模改修や耐震診断は行われていない。昨年実施した劣化診断では、早急に対応しなければならないとされるD評価が多い。</p> <p>図書館では、馬頭図書館が築44年を経過し、大規模改修も行われておらず、根本的な修繕がなされていない。昭和60年建築の小川図書館は、旧小川町健康管理センターを利用している。平成23年に大規模改修を行い、図書館としての供用を開始した。いずれの施設も来館者数は多いが、建物の建築から相当年数を経過している状況である。昨年度実施した劣化診断では、馬頭図書館は早急に対応する必要があるD評価が多数あり、小川図書館は馬頭図書館ほどの劣化は見られなかったが、部分的な劣化が見受けられる状況である。</p> <p>次に資料5は社会体育施設の現状で、15施設の利用状況に差が生じているのがわかる。裏面は今年度実施した個別施設の劣化状況で、総合劣化度評価点を見ると、劣化度が進んでいることを表す、点数が低い施設が多い。</p> <p>これらの現状を参考に、1つ目として町の現状を踏まえた今後の社会教育・社会体育施設の望ましい在り方について、2つ目として人口減少に伴い老朽化した施設を集約していくために解決すべき課題についての、2つの視点でご意見をいただきたい。</p>
町 長	<p>ただ今、生涯学習課長から説明がありました。</p> <p>教育施設の再整備計画について、委員の皆さんからご意見や提案をいただきたいと思うが、〇〇委員いかがでしょう。</p>
委 員	<p>資料5の社会体育施設の現状では令和3年度からの利用者数の推移しか出ていないため施設を建てた当時の人数に対して施設の数がどう</p>

	<p>なかわからない。しかし、現在の町民の数に対して15施設というのは多いのではないかと思う。その中で使用頻度の低い施設については、存続させるのかどうかも含めて検討してほしい。</p>
町長	<p>今の利用頻度を見て、人口と比べて考えなくてはならない施設もあるのではという意見ですね。</p> <p>〇〇委員さんは、いかがですか。</p>
委員	<p>私も大体同じですが、あとはこういった体育館は避難所などにはなっていないのか。緊急避難所になっている場合には残した方が良いのかなと思う。</p> <p>公民館では、修繕するのか、新しくするのか。もし新しくするのであれば、解体の予算などもあると思うし、解体して新しく建てずに更地にし、他の場所に集約するのもあると思う。例えば、図書館などを解体して、公民館と一緒に大きな施設とするなど。地域を分けてしまうと、その地域だけのことになってしまうので、大きなコミュニティとして施設を造れば、利用が増えて町民の交流が増えるので、その方が良いのではないかと思う。</p> <p>老朽化した施設は危険なこともあり、無理に古い施設を改修してお金をかけるのであれば、個人的にはなくしてしまった方が良いと思う。</p>
町長	<p>体育館は避難所になっている施設は残し、公民館等は、修繕費用と解体費用を見比べて判断すべきではないか。また、色々な機能を持たせ、みんなが集まれる複合施設を作った方が良いのではないかということでした。</p> <p>〇〇委員さんは、どうですか。</p>
委員	<p>みんなと大体同じ感じで、修繕にお金をかけるのか。それとも新しく建てるのかと言う事になると思う。利用者数も、色々な人が使つての人数なのか、同じような人が使つての人数なのかによっても、体育館などその施設を残しておくべきなのか、統廃合すべきなのか、ちょっと変わってくると思う。</p> <p>また施設を一つにまとめて、一つの場所でいろいろできるような複合施設にした方が、少子化になってきているので良いと思う。</p>

町 長	<p>施設を利用している人が特定の人なのか、多くの方が利用しているのかということも判断材料になるのではないかと。また、〇〇委員と同じく複合的な施設も考えるべきではないかということでした。</p> <p>〇〇委員は、いかがですか。</p>
委 員	<p>ビジョンとしては、やっぱり複合化、集約化というところにたどり着くのだなと思っています。</p> <p>図書館は図書館法、公民館は社会教育法に基づいているが、地域住民の生涯学習活動の拠点というところで、現代にマッチした複合施設というあり方は大きな魅力であるし、安心安全も含めてできるなら、そういったところが必要かなと思う。</p> <p>公民館は町の文化拠点であるが、地域には地区の方が公民館活動を行っている地域の自治公民館がある。そうした施設に対しても、地域の人々が肌感覚でわかるような支援があると、地域の人たちは、施設を一か所に集めて自分たちとは縁遠いという感じは避けられると思う。</p> <p>また図書館は電子化が進められてきているので、自治公民館みたいな地域というよりは、これから先を考えると1か所大きな拠点として整備した方が良くないかなと思う。</p>
町 長	<p>施設の集約はやむを得ない考えや、地域の自治公民館への支援も必要ではないかと意見です。</p> <p>教育長、あるいは事務局で意見はありますか。</p>
生涯学習課 課長補佐	<p>今現在、体育施設については総合体育館や小川体育館など体育館関係は避難所となっている。</p> <p>防災担当は、体育館としての利用は廃止しても避難所としては考えなくてはないが、事実上避難所となっても、老朽化した施設は実際使っていない現状である。こうしたことから、今後は体育館のランク付けを行い、上位の施設を避難所として利用することも含めて、防災担当と検討していく予定である。</p>
教育長	<p>ご意見をたくさんお聞きし、参考にさせていただきたい点がございました。</p> <p>まず何よりも法的な裏付けとして、社会教育法や図書館法などに基づ</p>

	<p>いて行うべきだという意見。</p> <p>それから今説明のあった防災に関する点では、大規模災害がいつ起きてもおかしくないという状況を考えると、必ずしも集約すべきなのかどうか。せっかく非難したのにそこがかえって危ないというようなことで2次避難をしなければならないと言う事になってはいけないなど、様々なことを考えなければならないと、再認識したところである。</p> <p>大変ありがとうございます。</p>
町 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>体育施設は利用者数だけでなく、実際に利用している人がどういう方たちなのかなども検証しなければならないと思う。また、中学校の体育館はこれから空調の導入を考えているが、町民体育館についても、今の猛暑に対してどうするのか、また避難所としても使うことができるのかなども考えていかなければならないと思う。</p> <p>避難所だから残すのか、解体して新しい施設を作るのか。また造るにしても、複合的な施設を造るのかなど、そういったことを町の計画の中で、しっかりと協議、議論していかなければならないということが課題かと思う。</p> <p>ウェルフルなかがわも若年層から高齢者まで、いろいろな形で健康増進に利用してもらっていて、コミュニティの場となっているので、新たな施設を造るとすれば、そういった環境の良い施設が良いと思う。</p> <p>教育長からまとめて、どうですか。</p>
教育長	<p>先ほど、どんな人が使っているのかという話があったが、総合体育館や旧小口小学校の体育館などは、合宿で学生が利用するなど、外部の方の利用者も結構あり、交流人口にも関係している。</p>
町 長	<p>私も夏場に、大学の合宿などで温泉街の宿泊施設に来ている学生の話は聞くので、そうした交流人口を町の活性化に役立つ、何か良いアイデアがあると良いと思う。</p>
町 長	<p>皆さんからたくさん意見をいただいたが、ここで施設をどうするかを決める場ではないので、皆さんの意見を参考に、今後、各社会体育施設や生涯学習施設の在り方を組織の中で検討していくことになる。</p>

町 長	<p>その他委員さんで何か言い足りないことありますか。よろしいですか。</p> <p>これで、議題2の「教育施設の再整備計画について」を終了とします。以上で本日の協議事項は全て終了した。それでは、事務局の方に進行をお返りする。</p>
4 その他	
学校教育課長	<p>次第4のその他に移ります。</p> <p>皆さんから何かないですか。(意見等なし)</p>
5 閉 会	
学校教育課長	<p>以上をもちまして、令和6年度那珂川町総合教育会議を終了いたします。</p> <p>(午後4時30分閉会)</p>